

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 2017年

法人名	かがやき長野	代表者	鈴木友子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフがを行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ま す。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	石川真奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6人	人	人	1人	1人	1人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	在宅時の様子や取り巻く資源の把握など地域と切れない支援についてミーティング等で検討する。	ミーティングでは事前に利用者に対する日頃の問題意識を出して貰い全職員で検討することが出来た。家族以外の関わりが把握できていない。	運営推進会議で事例検討のように行ったらどうか	介護評価者（アセッサー）を事業所として配置する。 職員其々の研修計画の作成と内部、外部研修の確実な実施でレベルアップを図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き介護事業所として、「地域の人に知っていただくように強める。	利用者が増え車両の出入り等で、介護事業所と判るようにはなってきた。	外観からはどんな場所か分かりづらい。 市民タイムス等でのPRも行ったらどうか	・事業所内でのイベント情報等、回覧板や新聞媒体も使いながら地域に発信していく。
C. 事業所と地域のかかわり	サポーターキャラバンの事業所での実施。 泊まりや訪問の体制を強め在宅支援を強める。	事業所での実施は出来なかったが、地域や他事業所でのサポーターキャラバンには協力出来た。 職員体制が作れない事で、地域との関わりも不十分なものとなった。	回覧板を活用していつでも見学が出来る事や介護職員募集について知らせていく。 自衛隊の職員課で早期退職者の休職をしているので問合せをしたらどうか	サポーターキャラバンの地域での開催に協力していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の様子を把握するために積極的に情報収集に努める。 地域内での相談会についても検討していく。	ケアマネの毎月の訪問や個別送迎時に情報をつかみ必要なサービスは提供している。地域のオレンジカフェに協力している	外部にイベントの参加を発信している。町会長、民生委員にも呼び掛けがされている。	職員の中から地域交流担当を配置し地域活動への参加をすすめる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	家族の参加による事例検討から事業所への期待や改善点などを把握していく。	家族の参加は2回あり、実施サービスについて意見をもらい、職員で話し合った。	運営推進会議に家族が参加すると自宅や地域での様子が判り易い。	家族の参加で在宅での様子を地域の方と共に確認していく機会を増やす。
F. 事業所の防災・災害対策	非常災害対策計画書を作成したので事業所の取組みについて知らせしていく。	消防署も参加しての避難訓練と、消防設備の使用の仕方について職員に徹底した。地域の方に知らせる取組みは出来ていない。	町会の防災訓練は安否確認も盛り込んでいたので、参加した方が良い。	11月に実施している地域の防災訓練に参加する。

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	6		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 引き続き介護事業所として地域の方に知っていただくように努めていく。	3		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ① 認知症サポーターキャラバンの事業所での実施が出来るようにしていく。 ② 泊まりや訪問の体制を整え、急な受け入れも含め在宅支援を強める。	5		1
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		2

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ① 地域の様子を把握するために積極的に情報収集につとめる。 ② 地域の方が困り事の相談に来られるようにしていく。相談会の開催なども検討していく。	5		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ① 家族への参加呼び掛けを強め、利用してみての事業所への期待や改善点などを把握していく。	5		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	1	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ① 非常災害対策計画書を作成したので事業所の取り組みについて知らせていく。 ②	2		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2	1	4

以上で終了です。ありがとうございました。